

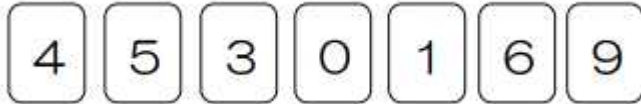
「算数チャレンジ大会（算チャレ）2018」予選問題

学年	年	組	組	氏名	
----	---	---	---	----	--

2

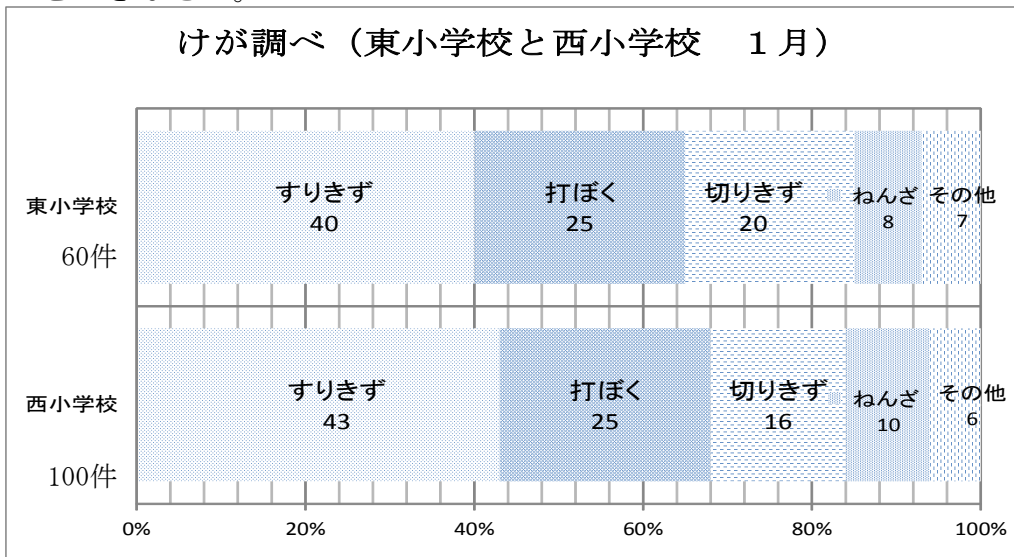
つぎと
次の問いに答えなさい。

- 1 下の7まいのカードを1枚ずつ使って、4けたの整数をつくりま



- (1) 4けたの偶数でいちばん小さい数はいくつですか。
 (2) 4けたの偶数でいちばん大きい数はいくつですか。

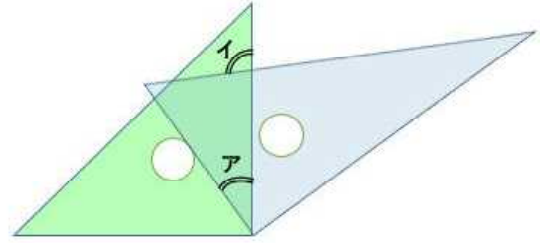
- 2 下のグラフは、東小学校と西小学校の1月のけが調べを表した帯グラフです。このグラフから読み取れることで、正しいことには○、まちがっていることには×をかきなさい。



- (ア) けがの種類は全部で4種類である。
 (イ) 両方の学校とも、一番多いけがは、すりきずである。
 (ウ) 東小学校と西小学校では、けがの件数は西小学校の方が多い。
 (エ) 東小学校の方が切りきずの件数が多い。
 (オ) 東小学校も西小学校も打ぼくの割合が同じなので、打ぼくの件数も同じである。

- 3 1組の三角定規を右の図のように重ねました。

角アが 44° のとき、角イは何度になるか求めなさい。



- 4 次の5つの式で、●は0でない同じ数を表しています。

計算の答えが●の表す数より大きくなるものを、下のアからオまでの中からすべて選んで、記号で答えなさい。

ア ● $\times 1.2$

イ ● $\times 0.7$

ウ ● $\div 1.3$

エ ● $\div \frac{5}{2}$

オ ● $\times \frac{4}{3}$

- 5 1から10までの整数の和を求めるときに、次のように考えることができます。

$$\begin{array}{r}
 1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 7 + 8 + 9 + 10 \\
 10 + 9 + 8 + 7 + 6 + 5 + 4 + 3 + 2 + 1 \\
 \hline
 11 + 11 + 11 + 11 + 11 + 11 + 11 + 11 + 11 + 11 = 11 \times 10 \\
 \downarrow \\
 1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 7 + 8 + 9 + 10 = 11 \times 10 \div 2 \\
 = 55
 \end{array}$$

この考え方を^{りよう}利用し、1から728までの整数の和を求めなさい。

$$1 + 2 + 3 + 4 + \dots + 727 + 728 =$$